

キャラクター名
クオーレ = ダルマータ

— プレイヤー名 —————

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	神官	性別	女	年齢	29歳
冒險者Lv	6	経歴	大きな勘違いをしている		
経験点	1500		蛮族と間違われたことがある		
			魔物に襲われたことがある		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	5	器用度	7	3		15 + 3	3
		敏捷度	7			12	2
体	6	筋力	6	2		14	2
		生命力	9	6		21	3
心	10	知力	11	2		23 + 1	4
		精神力	8	5		23	3

技能	Lv.	技能	Lv.
シューター	6		
プリースト/エセルフィン	4		
マギック	6		
セージ	5		
エンハンサー	1		
アルケミスト	1		

技能	技能	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	6	9	8	8

鎧と盾	スプリントアーマー	15	必要	
			ランク	筋力
鎧				5
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能		合計値	0	6

一般装備品	(消耗チェック)		
冒險者セット	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
弾丸x50	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
保存食 (1週間分)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
緑Aカードx25	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3点魔晶石x25	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

所持金 13690 預金・借金

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	14 m	42 m	2d+ 0	6	41
魔物知識/弱点	先制力		生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 9	2d+ 0		2d+ 9	2d+ 9	51

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	4	8			
魔動機術	6	10			

装備品	説明
頭	
耳 淨化の聖印(エセルフィン)	どの頭であっても複数の耳があることはよく無いので、耳印を複数枚まで記載を行なえます。
顔 フローティングスフィア(大)	自動回復化
首	
背中	
右手 イブン式宗匠の腕輪改一	
腰 ブラックベルト	
足	
その他バレットポーチ	《弾丸》類を24本収納。

—その他メモ—

クオーレ＝ダルマータは貴族である。シェナクラス地方の代々ライフォスを信仰する名家に生まれた。しかしそこは名を重んじ、下らない貧乏人共にごときに情けもなく時間も金もかけるなどという教えであり、それにいつも疑問を抱き続けていた為に感銘を受けた鉄船神工セルフィンの声が届く。そして信仰を広めるべく旅立つことを決意する

しかし、彼女は世間知らずなお嬢様。戦える武器も当然知らない。どれも習得が困難であったからだ。だが、ならば前時代に反映した大衆に魔法を立てるか掲げた魔術技術ならばどう? 適正があったのか、さほど苦労することはなかった。この魔が魔再び全人類に渡れば格差がなくなるといふ思いを胸に御声に尋ねられるまま放浪の旅へ出た。十分美人の部類なのだが、彼女自身顔で判断する者は嫌いであつたし、そして個性を感じさせないへリメットを被ることにしていたのだ。そこに金属鎧も加われば、あまりの迫力に出てくわした子供が彼女を蜜族やアーヴィングとして見下すやうになってしまった。

何かと勘違いしてしまうのも無理はない。その子供達を本物の蛮族から守る為に戦っていたところ、カーカとジェリスタが援護に入ってイレブン傭兵団の団員であることを知る。そしてここなら影響力が高いとイレブン傭兵団に入団する
上記の二人もヘルメットを被っているのでエセルフィン信者の同志だと思っている。最近は魔動機を復旧仲間としてユーレリア地方のアリダと顔見知りになり魔動機の1つを隣席させている

自動失敗
チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑯
□□□□⑯
□□□□⑯
□□□□⑯
□□□□⑯
□□□□⑯
□□□□⑯
□□□□⑯